

市町村名	東海市	窓口	健康推進課
住所	〒476-0003 東海市荒尾町西廻間2-1		
電話	052-689-1600	FAX	052-602-0390
E-mail	kenkou@city.tokai.lg.jp	URL	
【周産期医療機関へのPRコメント】			
母子健康手帳交付			
場所	しあわせ村 妊産婦・子育て総合相談窓口		
交付方法	個別面談		
スタッフ職種	保健師、助産師、看護師等の専門職		
→保健師以外の場合の気 になるケースへの対応	アンケートの点数等により支援プランを作成し共有		
市町村独自アンケート	なし		
内容・特徴	個別面談による相談、保健指導の実施		
こども家庭センター			
有 ・ 無（設置予定時期）			
名称	東海市こども家庭センター		
場所	しあわせ村 健康推進課、東海市役所 こども課		
スタッフ職種	保健師、助産師、看護師、社会福祉士、臨床心理士、家庭児童相談員		
内容・特徴	サポートプランの作成、母子保健と児童福祉の連携会議		
パパママ教室・両親学級等			
名称	両親学級		
時期・回数	通年、5回×6クール/年		
会場	保健福祉センター、とまと記念館、子育て総合支援センター		
対象者	妊婦とパートナー 歯科健診のみ経産婦も受診可能		
スタッフ職種	保健師、助産師、薬剤師、歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士、保育士		
申込み方法	要予約		
内容・特徴	妊娠・出産・産後についての講話、歯科健診、ランチ会、沐浴・お着替え実習、妊婦体験、子育て総合支援センターの広場にて育児体験（乳児の抱っこ体験、先輩ママとの交流）等。 来所型とオンデマンド型、それぞれ開催。		
子育て支援に関する事業（多胎児・外国人・転入者対象、MCG等）			
名称	多胎妊婦健診費用助成	初回産科受診料支援事業	
時期・回数		1回の妊娠につき1回、1年度につき2回まで	
会場		委託医療機関	
対象者	多胎を妊娠している妊婦	住民税非課税世帯に属するもの又はこれと同等の所得水準と認めるもの※その他支援を受けること等への同意の必要あり	
スタッフ職種			
申込み方法	妊娠届出時に直接お渡し	健康推進課へ直接相談	

内容・特徴	5回分（尿、血圧）の健診費用の追加助成	初回の産科受診料の費用の助成 1回10,000円（上限）	
マタニティサロン・広場等			
名称	なし		
時期・回数			
会場			
対象者			
スタッフ職種			
申込み方法			
内容・特徴			
産前・産後サポート事業／産前・産後ヘルパー			
名称	産前産後サポート事業 （デイト型）	産前産後サポート事業 （アウトリーチ型）	訪問型子育て支援事業（ママ応援）
時期・回数		平日 2時間／回	1日2時間以内
場所	保健福祉センター・児童館・市民館	自宅	依頼者宅及び自宅周辺
対象者	生後6か月までの子どもを養育する妊産婦	生後4か月までの子どもを養育する妊産婦	育児や家事の負担感等があり、本市に住所を有する1歳未満（未就園）の子どもがいる世帯
スタッフ職種	保健師、助産師、子育てサポーター	子育てサポーター	有償ボランティア（応援ママ養成講座受講者）
利用方法	自由参加	専門職による訪問や相談の後、対象者を決定	利用希望日の1週間前までに子育て総合支援センターに申し込む
内容・特徴	仲間づくり、母乳、育児相談	傾聴訪問	昼間、援助者がおらず支援を希望する世帯で、保護者と一緒に育児・家事を行って子育てを応援する。利用者負担額：最初の1時間800円、その後30分毎400円（交通費込み）
産後ケア事業			
名称	産後ケア事業		
会場	医療機関又は自宅		
対象者	出産後1年以内の母親		
スタッフ職種	助産師、保健師、看護師		
利用方法	実施医療機関と調整後、要申請		
内容・特徴	産婦及び乳児に対する保健指導、授乳指導や、産婦に対する心理的ケア及びカウンセリング、育児に関する指導及びサポートを行う。		
子育て世帯訪問支援事業		養育支援訪問事業	

		専門的相談支援		
対象者	要支援家庭	要支援家庭		
スタッフ職種	ヘルパー等	保健師・助産師・保育士等		
里帰り先への訪問	なし	なし		
申込み方法	妊娠期から継続的な支援を特に必要とする家庭や新生児訪問等で必要と思われる家庭に案内し、訪問面接の上、実施を決定	妊娠期から継続的な支援を特に必要とする家庭や新生児訪問等で必要と思われる家庭に案内し、訪問面接の上、実施を決定		
内容・特徴	育児・家事援助	専門的相談支援		
	妊娠中の家庭訪問	新生児訪問	未熟児訪問	こんにちは 赤ちゃん訪問
対象者	妊娠届出アンケートの点数が高い方や、その他必要と認められた方	新生児 保護者の希望がある方、その他必要と認められた方	未熟児	新生児・未熟児訪問を既に終了している方を除く全員
時期	妊娠期	生後1か月まで	生後4か月頃まで	
家族からの申し込み方法	電話、来所	電話または出生連絡票の提出		
医療機関からの依頼方法	母子支援連絡票の送付または電話			
スタッフ職種	保健師、助産師	保健師、助産師、看護師	保健師、助産師	新生児訪問と同様
里帰り先への訪問	里帰り先の市町村に依頼			
内容	妊娠・出産・産後に関する相談、産後のサービス等子育て支援の情報提供	赤ちゃんの身体計測・発育発達の確認、授乳等育児に関する相談、産後の心身の相談		
育児相談				
担当部署	健康推進課		子育て総合支援センター	
名称	育児妊婦相談	子育てオンライン相談	子育て相談窓口	
時期・回数	通年・1回/月	通年・2、3回/月	毎日（休館日・年末年始を除く） 午前9時～午後5時	
場所	保健福祉センター	保健福祉センター	子育て総合支援センター	
対象者	妊産婦、乳幼児の保護者	妊産婦とそのパートナー、就学前までの子どもを養育する保護者	全市民	
スタッフ職種	保健師、看護師、管理栄養士、臨床心理士	保健師、助産師、管理栄養士、歯科衛生士	保育士	
申し込み方法	母子手帳アプリボシモにて予約	要予約	予約不要	

内容・特徴	育児や発育・発達、妊婦の健康に関する相談	栄養・歯科に関する相談 妊娠8か月の妊婦・パートナーを対象とした相談	育児に関する相談	
電話相談				
担当部署	健康推進課	健康推進課	こども課	こども課
名称	健康ホットライン	妊産婦・子育て総合相談窓口	家庭児童相談	子育て電話相談
時期・回数	毎日午前8:30～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）	毎日午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）	毎日午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）	毎日午前9～午後5時（休館日、年末年始を除く）
対象者	全市民	全市民	全市民	全市民
スタッフ職種	保健師、歯科衛生士、管理栄養士等	保健師、助産師、看護師等の専門職	家庭児童相談員	子育て支援専門員
電話番号	052-689-1600	052-689-1646	052-689-1080	0562-85-6668
内容・特徴	育児・健康に関する相談	妊娠中の健康管理、産後の生活、子育て等に関する相談	家庭における児童の教育や家庭の人間関係などに関する相談	子育て相談
離乳食教室・子育て教室等				
名称	前期離乳食講習会		後期離乳食講習会	
方法	集団（来所型・オンライン型・見逃し配信）		集団（来所型・見逃し配信）	
時期・回数	通年・1回/月		通年・1回/月	
会場	保健福祉センター		保健福祉センター	
対象者	乳児健診終了後の親子（第1子全員、第2子以降希望者）		生後10か月をむかえる親子（第1子全員、第2子以降希望者）	
スタッフ職種	管理栄養士、事務職、介助協力者		管理栄養士、歯科衛生士、事務職、介助協力者	
申込み方法	要予約		要予約	
内容・特徴	講義、試食、作り方・実演		講義（離乳食、アレルギー）、試食、実演	
5歳児健診				
有 ・ 開始予定 （R8年度） ・ 無				
名称				
方法				
時期・回数				
対象				
健診事後教室等				
名称	ふきのとう教室	どんぐり	ひだまり	ちゅーりっぷ
方法	集団教室	集団教室	集団教室	個別訪問、面談
場所	保健福祉センター	保健福祉センター	カトレア（委託先）	自宅

対象者	精神発達に支援が必要な児と保護者	精神発達に支援が必要な児と保護者	精神発達に支援が必要な児と保護者	精神発達に支援が必要な児と保護者
スタッフ職種	保健師、保育士、臨床心理士	保育士、臨床心理士、言語聴覚士、保健師、	保育士、言語聴覚士、医師	保育士
利用方法	個別通知	個別通知	個別通知	個別通知
内容・特徴	親子遊び 個別相談	親子遊び、個別相談	プレ療育教室、発達検査、個別相談、保護者研修会	環境整備、日常生活指導
思春期保健に関する事業		その他事業		
名称	健康教育	伴走型相談支援事業		
時期・回数	9月～3月・各1回	通年		
対象者	小中学生、高校生	全妊産婦		
スタッフ職種	保健師	保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士、保育士等		
申込み方法	申込用紙の提出	アンケートは個別通知。プレママ・パパ相談・オンライン相談は要予約		
内容・特徴	喫煙、高齢者福祉、生命の大切さ等	妊娠・出産・育児等の相談 妊娠6～7か月になる妊婦へのアンケートの実施、妊娠7～9か月になる妊婦とパートナーに対する相談（プレママ・パパ相談）、オンライン相談。来所・電話相談		